

平安時代-1 【実力養成編】

まとめ（板書）

1) 【**桓武天皇**】の政治

①政治の立て直し ※奈良時代は政治が混乱

- ・784年、**長岡京**（京都府）に都を移す
 - ・794年、【**平安京**】（京都府）に都を移す
- ※【**平安時代**】の始まり

②《**蝦夷**》の平定

- ・東北地方に暮らす朝廷に従わない人々
 - ・【**坂上田村麻呂**】を《**征夷大將軍**》に任命して派遣
- ⇒アテルイは降伏

2) 平安時代の新しい仏教

- ・【**最澄**】：**比叡山**に**延暦寺**を建立、【**天台宗**】を広める
 - ・【**空海**】：**高野山**に**金剛峯寺**を建立、【**真言宗**】を広める
- ※2人とも遣唐使とともに唐に渡り、その後帰国

3) 対外関係の変化

①【**遣唐使**】の停止

- ・894年、【**菅原道真**】が進言
- ※理由：唐がおとろえていること、航海が危険であること

②中国

- ・10世紀初めに唐が滅亡⇒10世紀半ばに【**宋**】が統一

③朝鮮半島

- ・【**高麗**】が**新羅**を滅ぼし、半島を統一

4) 【**摂関政治**】

- ・【**藤原氏**】は娘を天皇のきさきにし、生まれた男子を次の天皇に立てた
- ⇒天皇が幼いときには【**摂政**】、成長後は【**関白**】として政治の実権をにぎる
- ・全盛期：【**藤原道長**・**藤原頼通**】親子の時期(11世紀)

5) **武士**の出現と反乱

- ・各地で**武士団**を形成
 - ・【**平将門**】の乱(関東地方)
 - ・【**藤原純友**】の乱(瀬戸内海)
- } 朝廷は**武士**の力を借りて反乱をしずめた
- ※いずれも10世紀前半に発生

重要年表

794年

- ・平安京に都を移す

9世紀初め

- ・最澄が天台宗、空海が真言宗を広める

894年

- ・菅原道真が遣唐使の停止を提案する

10世紀初め

- ・唐が滅亡する

10世紀前半

- ・平将門の乱
- ・藤原純友の乱

11世紀前半

- ・摂関政治の最盛期
- ※藤原道長・藤原頼通

要点チェック

- ◎ 1. 784年、【桓武天皇】は仏教勢力の政治介入などで混乱した政治を立て直すために、京都の長岡京に都を移した。
- ◎ 2. 794年、【桓武天皇】は京都の【平安京】に都を移した。これ以降の約400年を【平安時代】という。
- ◎ 3. 東北地方には、朝廷に従わない《蝦夷》と呼ばれる人々がいた。
- ◎ 4. 《征夷大將軍》に任命された【坂上田村麻呂】は、蝦夷を征服するために東北地方に派遣され、蝦夷の指導者のアテルイを降伏させた。
- ◎ 5. 9世紀初め、遣唐使に従って唐に渡っていた【最澄と空海】は、帰国後に新しい仏教を日本に広めた。
- ◎ 6. 最澄は比叡山に延暦寺を建立し、【天台宗】を広めた。
- ◎ 7. 空海は高野山に金剛峯寺を建立し、【真言宗】を広めた。
- ◎ 8. 894年、【菅原道真】は唐のおとろえや航海の危険を理由に、【遣唐使】の停止を提案し、認められた。唐は10世紀初めにほろんだ。
- ◎ 9. 【藤原氏】は、娘を天皇のきさきにし、生まれた男子を次の天皇に立てて勢力をのぼした。天皇が幼いときには【摂政】、成長してからは【関白】として、政治の実権をにぎった。この政治を【摂関政治】という。
- ◎ 10. 摂関政治が最も栄えたのは、11世紀前半から半ばの【藤原道長】と【藤原頼通】の親子の時期であった。
- ◎ 11. 10世紀ごろから、各地で武士が勢力をのぼし、武士団を作っていた。関東地方では【平将門】が反乱を起こし、瀬戸内地方(西日本)では【藤原純友】が反乱を起こした。これらの武士の反乱に対し、朝廷は別の武士の力を借りてしずめた。
- ◎ 12. 朝鮮半島では、新羅を滅ぼした【高麗】が国内を統一した。
- ◎ 13. 中国では10世紀初めに唐がほろんだ後、小国が分立したが、10世紀半ばに【宋】が統一した。

重要事項の演習-1

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

794年、(1)天皇によって京都の(2)に都が移されてから、鎌倉幕府が開かれるまでの約400年を平安時代という。(1)天皇は①(3)を征夷大將軍に任命し、東北地方に送った。

9世紀初めには、新しい仏教の教えも日本に伝えられた。比叡山に延暦寺を建てた(4)は(5)を伝え、高野山に金剛峯寺を建てた(6)は(7)を伝えた。

奈良時代から平安時代にかけて栄えた一族に、(8)氏がある。②(8)氏は他の有力貴族を排除し、天皇家と関係を深めながら、政治の実権をにぎるようになった。(8)氏は朝廷の高い地位をほとんど独占し、多くの(9)を寄進されて経済的にも栄え、11世紀前半の(10)と、その子(11)のときに最も安定した勢力を築いた。

(8)氏が勢力をのぼしているころ、地方では武士が登場した。彼らのなかには武士団を形成するほど成長し、③反乱を起こす者もいた。

平安時代前半、東アジアでも大きな変動があった。10世紀前半、中国では唐がほろび、その後(12)が中国を統一した。朝鮮半島では(13)がおこり、新羅をほろぼして半島を統一した。

問1 文章中の空欄1～13を正しくうめなさい。

問2 下線部①について、次の文のa・bを正しくうめなさい。

(3)は(a)とよばれる人々を従わせるために派遣され、(a)の指導者の(b)を降伏させた。

問3 下線部②について、次の(1)・(2)のa～dを正しくうめなさい。

(1) 排除された貴族のなかには、894年に遣唐使の停止を提案した(a)もいた。

(2) (9)氏は、天皇が幼いときには(b)、成人してからは(c)として、政治の実権をにぎった。この政治を(d)という。

問4 下線部③について、(1)10世紀に関東地方で反乱を起こした人物と、(2)瀬戸内海周辺で反乱を起こした人物を答えなさい。

解答

問1

1 _____

2 _____

3 _____

4 _____

5 _____

6 _____

7 _____

8 _____

9 _____

10 _____

11 _____

12 _____

13 _____

問2 _____

問3 a _____

b _____

c _____

d _____

問4 (1) _____

(2) _____

重要事項の演習-2

次のまとめを見て、下線部A～Fに関する問いに答えなさい。

1. 平安時代の始まり

- ・ 784年、A 長岡京に都が移される
⇒794年、平安京に都が移される

2. 藤原氏の台頭

- ・ B 天皇に接近し、権力をにぎった
- ・ C 摂関政治を行う
- ・ ほかの貴族を排除：D 菅原道真を大宰府に追放
- ・ E 11世紀に全盛期を迎える

3. 武士の反乱

- ・ 10世紀前半、F 関東地方と西日本で武士が反乱を起こした

解答

A

① _____

② _____

B

C

D

① _____

② _____

E

① _____

② _____

F

① _____

② _____

③ _____

A ① このときの天皇を答えなさい。

② ①の天皇が奈良の平城京から京都の長岡京に都を移した目的を簡単に説明しなさい。

B 藤原氏は、天皇やその一族とどのように接近したか。「娘」という言葉を使って説明しなさい。

C 藤原氏が行った摂関政治とはどのような政治か、説明しなさい。

D ① 菅原道真は、外交に関してどのような提案をしたか。

② 菅原道真が①の提案をした理由を1つ、簡単に書きなさい。

E ① 「この世をば わが世とぞ思う 望月の欠けたることも 無しと思えば」という和歌をよんだのはだれか。

② この和歌には、よんだ人物のどのような気持ちが込められているか。簡単に書きなさい。

F ① 関東地方で反乱を起こしたのはだれか。

② 瀬戸内海周辺で反乱を起こしたのはだれか。

③ 朝廷は、これらの反乱をどのようにしてしずめたか。

重要事項の演習-1

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

794年、(1)天皇によって京都の(2)に都が移されてから、鎌倉幕府が開かれるまでの約400年を平安時代という。(1)天皇は①(3)を征夷大将軍に任命し、東北地方に送った。

9世紀初めには、新しい仏教の教えも日本に伝えられた。比叡山に延暦寺を建てた(4)は(5)を伝え、高野山に金剛峯寺を建てた(6)は(7)を伝えた。

奈良時代から平安時代にかけて栄えた一族に、(8)氏がある。②(8)氏は他の有力貴族を排除し、天皇家と関係を深めながら、政治の実権をにぎるようになった。(8)氏は朝廷の高い地位をほとんど独占し、多くの(9)を寄進されて経済的にも栄え、11世紀前半の(10)と、その子(11)のときに最も安定した勢力を築いた。

(8)氏が勢力をのびしているころ、地方では武士が登場した。彼らのなかには武士団を形成するほど成長し、③反乱を起こす者もいた。

平安時代前半、東アジアでも大きな変動があった。10世紀前半、中国では唐がほろび、その後(12)が中国を統一した。朝鮮半島では(13)がおこり、新羅をほろぼして半島を統一した。

問1 文章中の空欄1～13を正しくうめなさい。

問2 下線部①について、次の文のa・bを正しくうめなさい。

(3)は(a)とよばれる人々を従わせるために派遣され、(a)の指導者の(b)を降伏させた。

問3 下線部②について、次の(1)・(2)のa～dを正しくうめなさい。

(1) 排除された貴族のなかには、894年に遣唐使の停止を提案した(a)もいた。

(2) (9)氏は、天皇が幼いときには(b)、成人してからは(c)として、政治の実権をにぎった。この政治を(d)という。

問4 下線部③について、(1)10世紀に関東地方で反乱を起こした人物と、(2)瀬戸内海周辺で反乱を起こした人物を答えなさい。

解答

問1

1 桓武

2 平安京

3 坂上田村麻呂

4 最澄

5 天台宗

6 空海

7 真言宗

8 藤原

9 荘園

10 藤原道長

11 藤原頼通

12 宋

13 高麗

問2 蝦夷

問3 a 菅原道真

b 摂政

c 関白

d 摂関政治

問4 (1) 平将門

(2) 藤原純友

重要事項の演習-2

次のまとめを見て、下線部A～Fに関する問いに答えなさい。

1. 平安時代の始まり

- ・784年、A 長岡京に都が移される
⇒794年、平安京に都が移される

2. 藤原氏の台頭

- ・B 天皇に接近し、権力をにぎった
- ・C 摂関政治を行う
- ・ほかの貴族を排除：D 菅原道真を大宰府に追放
- ・E 11世紀に全盛期を迎える

3. 武士の反乱

- ・10世紀前半、F 関東地方と西日本で武士が反乱を起こした

A① このときの天皇を答えなさい。

② ①の天皇が奈良の平城京から京都の長岡京に都を移した目的を簡単に説明しなさい。

B 藤原氏は、天皇やその一族とどのように接近したか。「娘」という言葉を使って説明しなさい。

C 藤原氏が行った摂関政治とはどのような政治か、説明しなさい。

D① 菅原道真は、外交に関してどのような提案をしたか。

② 菅原道真が①の提案をした理由を1つ、簡単に書きなさい。

E① 「この世をば わが世とぞ思う 望月の欠けたることも 無しと思えば」という和歌をよんだのはだれか。

② この和歌には、よんだ人物のどのような気持ちが込められているか。簡単に書きなさい。

F① 関東地方で反乱を起こしたのはだれか。

② 瀬戸内海周辺で反乱を起こしたのはだれか。

③ 朝廷は、これらの反乱をどのようにしてしずめたか。

解答

A

① 桓武天皇

②例：混乱した政治を立て直すため。

B例：娘を天皇のきさきにし、生まれた男子を次の天皇にした。

C例：天皇が幼いときは摂政、成長してからは関白として、実権をにぎる政治。

D

① 遣唐使の停止

②例：唐がおとろえたから。(航海が危険だから。)

E

① 藤原道長

②例：栄華をほこる気持ち。

F

① 平将門

② 藤原純友

③例：同じ武士の力を借りてしずめた。